

平成31年度・令和元年度 自己評価アンケートまとめ

社会福祉法人ほどがや ゆめっこくらぶ

職員による自己評価(抜粋)

- ・利用者人数が増えたことでややスペースは手狭感を感じるが活動を屋外と屋内の活動を分けている事である程度解消されている。
- ・通常活動時には学校送迎と時間帯が重なる事で行ける範囲に限りが出てしまい、行先が偏ってしまっている。
- ・長期休暇等を利用しての外出企画が行えなかった。
- ・個別支援計画書は作成されていて、ある程度職員間で共有を図りながら支援に取り組むことができている。
- ・個別課題等を活動前のミーティングや引き継ぎを通して共有を図る事ができている。
- ・カンファレンス等への参加を通して学校や各関係機関とは連携を図れているが、放課後児童クラブ等との交流はない。
- ・日々の保護者との連携は送迎時や面談を通し行うことができているが、父母会は実施していない。

保護者による評価(抜粋)

- 一人の職員が何役もカバーしている印象があるのでもう何人かいると良い。
- ・一度手すりできさくれが手に入って帰宅したことがあり、改善はされていると思うが定期的なメンテナンスを行って欲しい。
 - ・バリアフリーについてできる範囲の配慮はなされている。
 - ・活動がやや縮小されていると感じるのでできる範囲で他の活動も取り入れて欲しい。
 - ・困った時に相談しやすく適切なアドバイスや支援をしてもらえた。満足度120%
 - ・学校送迎が現時点で行ってもらえていないのが残念
 - ・障害のない児童との交流を特に求めている。
 - ・父母会や保護者交流会というシステムがある事を知らなかった。



事業所内での分析

【共通点】

環境面についてはある程度、確保、整備されている。
また配慮もなされている。
通常時、長期休暇等も含め活動が偏り気味である。
各個別課題について職員間の共通認識は持っていてそれを元に保護者が困った時にアドバイスや支援を行う事ができている。

【相違点】

環境面においてのメンテナンスを行って欲しい。
活動状況や時間等の都合により学校送迎を行えない利用者がある。

事業所の強み

- ・活動や利用者支援、また保護者対応についてもある程度満足して下さっている保護者が多く、そのような回答が多かった。
- ・保護者が困ったときに適切な支援やアドバイスを送れている事で満足感を得られている方もいた。
- ・環境面においてもある程度配慮がなされていて、利用者数によってはやや手狭感はあるものの屋内と屋外の活動を交互に行いながら安全面に配慮して活動を行う事ができている。

事業所の改善点

- ・通常活動時の活動内容の拡大
- ・建物(環境面)の定期的なメンテナンス
- ・学校送迎に対する課題。
- ・どの職員が説明等を行ってもその内容や丁寧さに差異が出ないようにするための共通認識の再確認。

事業所の改善への取り組み

今年度は法人内での放課後等デイサービスが統合され、職員が変わったり人数も増えた中でのスタートであったが、それなりの形を持って活動を行う事ができ、保護者からは満足できているという回答も得られたが、一方で職員によっては丁寧さやわかりやすさに違いが出てしまったり一人の職員に偏っていると印象を与えてしまった事は課題だと感じる。その為、職員間でよりしっかりとコミュニケーションを取りながら対応する必要があると感じた。また活動内容についても学校迎えと外活動を抱き合わせで実施するなどして場所の開拓や時間の確保を行っていく必要があると感じている。

アンケート配布数	アンケート回収数	回収率
23	13	56.5%